

本市のデータ

(1) 総面積は、1,093.64平方キロメートルで、秋田県全体の9.4パーセントを占めています。

(2) 人口

(人)

| 35国調 | 12国調 | 17国調 | 22国調 | 令1.6 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 43,765 | 33,565 | 31,868 | 29,568 | 26,097 |

(6) 産業構造

| 区分 | 就業人口 | 就業人口 | 就業人口 |
|----|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 55国調 | 17国調 | 22国調 |
| 一次 | 5,863人 28.7% | 2,272人 14.3% | 1,883人 13.5% |
| 二次 | 5,844人 28.7% | 4,541人 28.5% | 3,556人 25.6% |
| 三次 | 8,687人 42.6% | 9,097人 57.2% | 8,470人 60.9% |
| 計 | 20,394人 | 15,910人 | 13,909人 |

(3) 高齢化率

| 20 | 22 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 30 |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 32.7% | 33.6% | 34.6 | 35.8% | 37.6% | 38.6% | 39.9% | 41.5% |

(4) 世帯数

| 35国調 | 12国調 | 17国調 | 22国調 | 令1.6 |
|-------|--------|--------|-------|--------|
| 8,461 | 10,378 | 10,274 | 9,859 | 10,593 |

(5) 沿革

平成17年9月20日に旧田沢湖町、旧角館町、旧西木村が合併し、誕生しました。

本市の概要

仙北市は、秋田県の東部中央に位置し、岩手県と隣接している地域です。ほぼ中央に水深が日本一である田沢湖があり、東に秋田駒ヶ岳、北に八幡平、南は仙北平野へと開けています。地域の約8割(892.05平方キロメートル)が森林地帯で、奥羽山脈から流れる河川は、仙北地域の水源となっています。気候は、冬季には全地域で平均気温が氷点下を下回る厳しい寒さですが、地域の南北間では気候、降水量とも差があります。本市は、武家屋敷に代表される歴史と文化の薫り高い角館地区、田沢湖や秋田駒ヶ岳に代表される自然豊富な田沢湖地区、そして田園風景や森林を活用した都市と農村の交流が盛んな西木地区など、豊富な資源に恵まれています。



松木内川堤桜並木(角館) 刺巻湿原ミズバショウ群生地(田沢湖) 八津・鎌足かたくり群生地(西木)

支援に向けての取組状況

<対策の方針・目標>

本市では平成19年度より秋田県の自殺予防対策モデル事業をうけ、アンケート調査を実施し自殺予防事業を展開してきました。平成21年度事業からは地域自殺対策緊急強化事業として、自殺対策事業の充実・強化を図ってきました。「自殺は防げる」の理念のもと自殺者を減らし、「自殺ゼロ」を目指しています。自殺者数はH18年18名(自殺率49.6)を上限に、増減を繰り返しながら徐々に減少傾向に推移していましたが、H29年は9名(自殺率34.0)の自殺者がおり、4年ぶりに全国平均を上回っている現状となっています。個別対応として、H23年度には傾聴ボランティア「えくぼの会」の定期個別相談活動開始、H24年度には、臨床心理士による「こころの相談(対面相談)日」を設けました。H25年度からは「えくぼの会」がサロン活動を定期に開催し、笑いヨガで気軽に集まれる会として「笑いの会」が月1回活動するようになりました。H26年度からは「こころの相談日」を拡充しています。また、平成31年3月に仙北市自殺対策計画を策定し、いのち輝く仙北市の実現を目指して、支えあいのネットワークの構築と、高齢者の生きがいつくりも強化し、自殺予防対策を推進していきます。

<具体的な取組み>

平成30年度事業実績

H30年度 心の健康づくり 自殺予防対策事業 実績

| 事業 | 名称 | 内容等 | 対象 | 回数 | 人数 |
|--------------|----------------------|---|--|---------|------|
| 臨床心理士による健康相談 | こころの相談 | 時期:4月~3月、月1~2回 スタッフ:臨床心理士 相談方法:面談(要予約)1日2件 | 一般市民 | 16 | 16 |
| | こころの電話相談 | 時期:4月~3月、月1~2回 スタッフ:臨床心理士 相談方法:面談(要予約)1日2件 | 一般市民 | 12 | 6 |
| 傾聴ボランティア支援 | えくぼの会定例会(個別相談) | 角館交流センター おおむね月1回(第3水曜日) | 一般市民 | 12 | 31 |
| | えくぼの会主催えがおサロン | 健康増進センター 月1~2回(火曜日または水曜日)7月まで月2回実施。8月からは月1回実施。 | | 16 | 159 |
| | かだれ主催サロン支援 | 健康増進センター 月2回(第2、4火曜日)H30年8月~発足、8月28日の第4火曜日から活動開始。 | | 15 | 126 |
| 妊産婦対策 | 妊産婦の電話相談 | 妊娠・育児相談ダイヤルを設置。 平日8時半~16時半 妊娠・育児・家族のことなどの相談を受付。 | 妊産婦 | 随時 | 19 |
| | 妊産婦の心の健康普及啓発 | 母子手帳交付時にパンフレットを配布 | 妊婦 | 母子手帳交付時 | 99 |
| 自殺対策に携わる人材育成 | 心の居場所づくりセミナー | 年1回 演題:「お互いが安心できる心の居場所を見つける~地域づくりは心の居場所づくりから~」 講師 ヘルスプロモーション推進センター 代表 岩室 紳也 氏 場所 榊細工伝承館 | ふれあいサポーター、傾聴ボランティア、相談業務に携わる専門職、民生児童委員・主任児童委員 | 1 | 111 |
| | 早期対応の中心的役割の人材育成 | 年1回 演題:「誰も自殺に追い込まれることのない仙北市を目指して~自殺対策計画策定における留意点等~」 講師:自殺対策支援センター ライフリンク 代表 清水 康之 氏 場所:田沢湖総合開発センター | 仙北市役所管理職員 | 1 | 23 |
| 傾聴ボランティア人材育成 | 「ふれあいサポーター養成講座」 | 年3回 傾聴活動基礎講座 第1回目 10月19日(金) 講師 曹洞宗月宗寺住職 袴田 俊英 氏 第2回目 11月2日(金) 講師 日本赤十字秋田看護大学 助教 播摩 優子 氏 第3回目 11月27日(火) 講師 秋田大学大学院 准教授 佐々木 久長 氏 | 一般市民、健康づくり推進員、仙北元気はつらつ隊、傾聴ボランティア | 3 | 117 |
| | 「ふれあいサポーターステップアップ講座」 | 年2回 傾聴活動応用講座 【講師】 第1回目 8月22日(水) 講師:秋田大学大学院 准教授 佐々木 久長 氏 第2回目 9月28日(金) 講師:秋田カウンセリングオフィス 臨床心理士 成田 ひとみ 氏 | ふれあいサポーター、傾聴ボランティア | 2 | 33 |
| 高齢者の心の健康づくり | 笑いでいきがづくり教室 | 講師を招いて笑いヨガを実施。 講師:伊藤晴美氏 笑いヨガ・ラフターヨガティチャー | 高齢者を主とした一般市民 | 4 | 100 |
| | 笑いの会支援 | 日程:月1回 金曜日 10:00から11:30 代表:竹谷育子さん(リーダー研修受講済) 内容:健康の話し、軽運動、笑いヨガ準備体操、笑いヨガ「笑いでいきがづくり教室」(伊藤晴美先生)と4回共催(回数と人数は教室に含んで計上) | 高齢者を主とした一般市民 | 12 | 301 |
| | 地区会館での心の健康教育 | 地区会館で地区の高齢者に自殺予防・心の健康づくりについて保健師が健康教育を行う。9月の健康相談時に実施。 | 高齢者等 | 11 | 115 |
| 啓発 | 街頭キャンペーン | 市内店舗の協力を得て、傾聴ボランティアと社協職員、市職員がパンフレット等を配布しながら市民に呼びかける。啓発トイレットペーパー、チラシを配布。 9月:自殺予防週間 12月:12月1日WHOいのちの日 3月:3月1日県民いのちの日、3月自殺予防強化月間 実施風景を市広報に掲載 | 市民 | 3 | 1100 |
| | 学生への啓発 | 角館高校2年生に実施の思春期研修会に合わせ、ポケットティッシュ、相談窓口の書いたカードを配布。 | 角館高校2年生 | 1 | 204 |
| | 広報掲載 | 毎月、「こころの相談」「こころの電話相談」「笑いの会」「えくぼの会」「えがおサロン」「かだれ」「若者の居場所」を掲載。 | | 12 | |
| 地域自殺対策計画の策定 | 仙北市自殺対策計画策定 | 市民アンケート実施 | 市民 | 1 | 1500 |
| | | 庁内事業の棚卸。各課へ対しヒアリングの実施。 委員会の開催 | 各課 策定委員 | 2 | |